

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋 賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7
 (渋川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878



2015/11/27

「養蚕 新城市出沃
 遠くへ送るに
 昔々の里山が
 ありました。
 これは織田鉄砲隊が武
 田騎馬隊を撃破し、
 長篠合戦の時間の激闘
 した処から設楽原を通
 子山の奥にある出沃村。
 ここに、八百の神々の中心
 皇室の御祖神である
 天照大御神に献上する
 絹の布を下げている。繭を
 育てる海野が住んで
 おり、毎年伊勢神宮明治
 神宮へ納めています。
 この繭は水引やての糸を
 紡ぐので世の中の繭の中で
 勿論日本が一番なのだそう
 です。この村には空物が二あります。」



2015/11/27

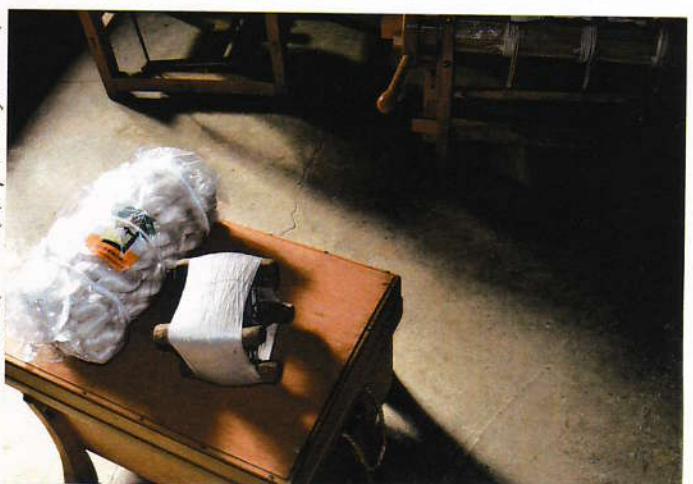
「赤とんぼ」
 一、タヤケイヤケの
 赤とんぼ
 二、買われて見たのは
 ソフの白か。
 三、山の畑の桑の実
 を小籠に摘ん
 だなまほろしか
 三十五で姐やは嫁に
 行き、お里のなまり
 も絶えはてた
 四、タヤケイヤケの赤とん
 ぼ、とまっているよ
 竿の先、

桑の木「お木の「あいちのかおり」
 は試験場と開発たのめ
 海野さんです。」



2011.11.03

「この糸は世界遺産富岡生糸の
 すぐそばにある碓氷生糸でつくられ
 ます。
 山から降りて尾張旭に到着タヤケをした。」



「この繭は白く美しい海野さんから3箇嶺へ
 この糸を紡ぐのに蚕が二万匹から三万匹まで。」

